



岡山市づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 7 年 1 月 20 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ チイキヅクリダンタイ ワイエムシー
団体名 地域づくり団体 YMC
所在地
連絡先
フリガナ
代表者



※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり ① 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	YMCプロジェクト
事業実施小学校区・地区	御野小学校区
事業実施回数	新規・継続 回目 / 【 年度から】
課題	現在、少子高齢化や核家族化、価値観の多様化により、人間関係の希薄化が顕著となっている。これに伴い、町内会においても未加入または会費のみの支払いに留まる世帯が発生し、運営はもちろん活動や行事にも参加しないという住民が増加している。そのため、活動全般において参加者の高齢化が進み、遊園地清掃やゴミ管理などの環境整備活動の存続や災害時の共助が成立しないのではないかといった危機感が発生している。また、町内の独居世帯での孤独死の発生や、外国籍住民の価値観の相違による問題が発生しており、解決方法の模索が必須となっている。反面、多様な進学先が確保された地域のため、子育て世帯が学校行事等で関りをもつ場が減少しており、町内会参加の阻害要因となっている。
事業の目的	本事業は、地域活動の参加平均年齢を引き下げ、活動主体の年齢層を拡大することを目的としている。そのため、50代以下の年代、特に若年層や学生が興味をもてるような企画の実施や、オンライン会議の開催をはじめとして、働いている世代にも参加しやすい仕組みを構築することを目指すものである。 また、個々の活動において高齢者から子どもまで含めた異世代交流の場や機会を日常的に創出することで、住民の困りごとを直接拾いあげて課題として共有し、協働して解決することを目指すことで、世代を超えた地域住民の共同体意識を高めることを目的としている。

事業の内容	<p>事業目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 活動参加世代の拡大に向けた組織や仕組みづくり ② 具体的な地域課題の掘り起こしと情報の共有 ③ 若年層参加のための促進活動（プレーパークの開催等） ④ 異世代の集まりによる定期交流会（^{なごみ}和 サロンの開催） ⑤ 不登校児と保護者支援のためのフリースクールの実施 ⑥ 災害を想定した防災訓練の実施（炊き出し訓練・HUG/DIGの開催） ⑦ コミュニケーション活性化のためのデジタルツールの導入 ⑧ 地域住民への広報及び啓蒙活動（HPの開設、回覧板・掲示板掲載） ⑨ 先進的団体への視察による情報収集等
期待される成果・目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域課題が世代を超えて共有され、相互に協力して課題解決に向けた取り組みを実施できる体制が創れる。 ■ 幅広い世代の人材が参加することで、課題の解決や地域の活性化に向けた新しいアイデアやつながりが生まれる。 ■ 環境整備活動や福祉活動に参加する人材を増やし、地域活動の負担が高齢者や一部に偏ることを防止することができる。 ■ 初年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ KGI：①体制の構築、②広報による住民周知、③定期イベントの開催 ・ KPI：①参加メンバー1.5倍達成、②50代以下の参加比率70%の達成
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住民が主体的に仲間を集め、自分たちがやりたい活動を企画・運営して小規模な活動を多数実施する方式を採用することで、自らの活動であるという意識をもちやすくしている。 ■ 自主的グループでの集まりを定期的に開催したり、デジタルツールを利用したりすることで、意見や情報を共有しやすくしている。 ■ 普段の活動グループを大規模イベントや災害時に活用できる仕組みにすることで、日常の小さい活動を、緊急時を含む大きな活動につなげられる仕組みについている。
協働する団体等	<p>大和町一丁目町内会：運営の中心かつ定期活動の主体 ボランティアサークル Story：運営の補助かつ定期活動の主体 御野 PTA OB/OG 会：広報や参加者募集活動、および定期活動の主体</p>

事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ■HP および SNS での広域情報発信 ■イベントや活動でのチラシ配布 ■回覧板や掲示版を利用した地域住民への情報共有
学区地区への広がり	<p>運営の課題や活動の継続の可否、参加者人数の動向による個人の負担量が見通せないため、既に地域を支えている個人や団体への負荷を最小限に抑えるためにも、小規模な範囲で実証実験的に活動の立ち上げは行いたいが、体制の基礎が固まり収益の確保が見込まれ、若年層を含む幅広い年代の参加が見込まれることが確認できれば、地区の各種団体・組織間で協働し広く参加を呼びかることで、学区全体の地域活動の活性化が期待できる。</p> <p>また、将来的に活動が学区全体で可能であると判断できれば、学区や区を超えて岡山市全体への広がりの可能性も有する。</p>
前年度からの見直し拡充点	<ul style="list-style-type: none"> ■新規のためなし
次年度以降の予定	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>① 次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度で見えてきた活動課題を整備し、体制と活動の安定化を図る。 ・実証イベントでの収支状況を分析し、収益の拡大方法と支出の効果について検証する。 <p>②資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/>（　）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：</p>
その他PRしたい点	<ul style="list-style-type: none"> ■本事業は、50代以下のメンバーが主体的に活動することで、これまで地域を支えてきた組織や個人の負担を増加させることなく新しい仕組みを創り、高齢者や子育て世帯の課題の解決、地域の活性化に貢献したいという思いで企画したものである。 ■子育てを行っている世代が自らの子どもを巻き込みながら活動に加わっていくことで、子ども達の地域への愛着を育み、次世代の地域人材を育成したい。 ■参加メンバー自身も自ら企画した活動を楽しむことで、個人の Well-being につなげていくことができる。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	活動説明会の開催 設立総会（事業計画、規約の制定、役員・予算の承認）
5月	PR・説明動画の作成と配信、参加者・部門の募集 視察先の選定
6月	運営定例会①（運営方法および活動詳細の検討、視察準備） 部門会議（部門方針・活動内容の検討）
7月	視察研修 各部門の活動実施（和サロン、プレーパークの開催、フリースクールの開始）
8月	運営定例会②（視察内容の共有と検討、防災訓練等の企画立案） 部門会議（活動状況の報告および次回企画の検討）
9月	各部門の活動実施（和サロン、プレーパーク等の開催）
10月	運営定例会③（防災訓練の準備、組織づくりの検討） 部門会議（活動状況の報告および次回企画の検討）
11月	全体イベント実施（防災訓練の実施）
12月	運営定例会④（防災訓練の反省会、） 部門会議（活動状況の報告および次回企画の検討）
1月	各部門の活動実施（和サロン、アイシングクッキー講習会等の開催）
2月	運営定例会⑤（総括と次年度に向けての課題検討） 部門活動報告会（年間報告と次年度に向けた課題共有）
3月	活動内容の反省と収支の、運営課題の整理と申し送り 報告書の作成 次年度に向けた計画・予算の立案

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内 容
岡山市補助金		880,000	
実施団体負担金		70,000	
参加者負担金		0	
協賛金		150,000	大和町一丁目町内会
寄附金、他収入		0	
収入合計	0	1,100,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費		500,000	机・イス・テント他
②食糧費		50,000	飲み物代
③印刷製本費		30,000	チラシ・会議資料印刷代
④燃料費		20,000	灯油・プロパンガス代
⑤光熱水費		20,000	電気・水道代
⑥通信運搬費		50,000	Zoom使用料、Wi-fi使用料
⑦広告料		25,000	レンタルサーバー代他
⑧手数料		5,000	振込手数料
⑨使用料・賃借料		50,000	用品レンタル代、会場使用料
⑩原材料費		100,000	防災訓練の原材料
⑪委託料		20,000	会場設営委託
⑫工事請負費		0	
⑬報償費		20,000	講師謝金(防災、アイシングクッキー)
⑭保険料		10,000	イベント保険料
⑮旅費		200,000	視察用交通費(県外視察6名程度)
支出合計	0	1,100,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを

希望する

希望しない

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

活動を行う前に用品等の購入が必要となるが、現在は原資となるものがないため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。